黒岩英雄 委員長
農林水産・建設委員長報告（概要）
・議案4件を原案可決

【議案第55号】南島原市公共下水道条例等の一部を改正する条例について

質疑 **新旧で比較し、現状で試算した時にどのくらい徴収額が増えるのか。**

答弁 企業会計の下水道事業会計の増額分は12・8%、約683万5千円の増額を見込んでいる。また、コミュニティ・プラントは改正後も同水準を見込んでいる。

質疑 **住民説明会は、何回か行ったのか。**

答弁 令和7年8月5日から8日まで、下水道区域の口之津地区、南有馬大江地区、西有家慈恩寺・見岳地区、深江大野木場団地を対象に開催し、参加者は合計52名。

質疑 **参加者が少ないのは関心がなかったのか。それとも料金改定は、妥当と思って参加されなかったのか。**

答弁 1名参加の西有家慈恩寺・見岳地区には管理組合があり、年1回の役員会をされている。2、3年前から役員会の説明会で、下水道使用料の見直しの話をしており、理解していただいていると思う。

【議案第56号】南島原市公共下水道事業等受益者負担に関する条例及び南島原市農業集落排水事業分担金徴収条例の一部を改正する条例について

質疑 **この改正は合併していち早くすべきだったと思うが、何で今回か。**

答弁 合併時に水道料金は深江町と加津佐町で差があり、平成23年から5年かけて合わせていった。平成28年から4年かけて下水道事業を企業会計に移行する業務や、令和2年からのコロナ感染症の流行で、料金及び負担金の改定に踏み切れなかった。その後、経営が厳しくなり、今年4月に水道料金を改定し、下水道については今の時期となった。

質疑 **受益者負担金はどのくらい下がるのか。**

答弁 一括納付の場合、1件あたり15万円の1割で1万5千円下がる。

質疑 **目標としては、接続率を100に近づけていくということか。**

答弁 下水道の接続には費用がかかる。下水道に繋いでいない方の多くは高齢者の単身世帯で、これ以上の伸びは見込めないと考えている。

【議案第57号】南島原市し尿処理施設条例の一部を改正する条例について

質疑 **今回の改正内容は。**

答弁 深江衛生センターは、し尿中継施設として運営するため、令和5年に県へし尿処理施設の使用廃止届を提出。今回し尿中継施設としての施設区分を明確にするため、条例改正を行うもの。

（全て討論はなく、採決の結果、原案可決）

総務委員会視察研修報告
令和7年10月22日(水)～10月24日(金)

10月22日(水)
■内閣府
「地方創生推進交付金の概要と活用事例について」

衆議院議員会館内の会議室において「新しい地方経済・生活環境創生本部事務局」の佐藤弘康参事官補佐を講師にお願いし、新しい地方経済・生活環境創生交付金について制度説明を受けた。

新地方創生交付金は、生活環境の創生、一極集中の是正、地方経済の創生、新技術を活用し多様な関係者が関わる地域活性を目指す取組で若者・女性に選ばれる地域づくり、地方イノベーション構想、広域リージョン構想など異業種・異分野・複数自治体の取組などを推進している。南島原市は、本制度を積極的に活用しているとの説明があった。

10月23日(木)
■千葉県館山市
「リノベーションまちづくり推進事業について」

「リノベーションまちづくり」は、まちなかの空き店舗や空き家などの遊休不動産について、起業・創業意欲のある人材が、新しい使い方により「まち」を再生していく事業で、地域課題の解決を見据えて民間主導でプロジェクトを起こし、行政が支援する、民間主導の官民連携事業である。

将来の事業の自走を目指し持続可能な取組とするためには、収益性の向上と、地域の理解・協力を得る必要がある。そのため、地元商店街の参加や協力連携を得ながら、イベント等を実施している。

【研修の様子】「リノベーションまちづくり推進事業について」

10月24日(金)
■千葉県木更津市
「道の駅木更津うまくたの里」

「うまくたの里」は東京湾アクアラインを通って最初に出会う道の駅であり、農業振興や観光振興など地域活性化に貢献する広域交流の場である。農産物・特産物販売と共に千葉県・木更津市の情報発信基地となっている。

【所感】

本市の課題でもある空家対策と地域活性化のため、国の制度を活用すると共に、現状を理解してもらいながら地域の魅力を発信していくことが大切だと感じた。

文教厚生委員会視察研修報告
令和7年10月28日(火)～10月30日(木)

10月28日(火)
■大阪府高槻市
「高槻城公園芸術文化劇場について」

旧市民会館の老朽化に伴い、総工費144億円で、地域の文化芸術の拠点として整備され、令和5年3月18日に「高槻城公園芸術文化劇場」として開館した。高槻城跡公園内に位置し、歴史や自然との調和を重視したデザインが施され、施設には大ホール（1，505席）、小ホール（205席）、大スタジオ（168席）、多目的スタジオ10室、カフェ、駐車場などが併設されている。ホールの名称は、ネーミングライツを採用し企業名が入っている。基本理念は「ひと・まち・未来が輝く文化芸術の創造発信拠点」であり、市民活動や文化芸術の発展を支える拠点として機能しており、開館後は、市民参加型のイベントやオープニング式典が行われ、地域住民との交流を深める取組が進められている。

10月29日(水)
■大阪府大東市
「大東不登校支援モデル（学びへのアクセス100%）について」

大東市では、小・中学生の長期欠席・不登校児童生徒の増加が課題となっている。大東不登校支援モデルでは、多層に選べる不登校支援として、魅力的な学校づくり、ICTを活用した学習支援、家庭教育支援チームによる支援、教育支援センター「ボイス」、民間フリースクールとの連携強化を掲げている。具体的な施策として、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーの配置、家庭訪問、個別指導、教育支援ルームの設置などが行われている。教育支援ルームでは、子供たちが安心して過ごせる環境を整え、学年を超えた交流や自己肯定感を高める活動が実施されている。また、教育支援センター「ボイス」では、学校に馴染めない児童生徒への支援を行い、学習や交流の場を提供している。

【所感】

文化や教育の取組は、市民の暮らしや子供たちの未来を支える重要な役割を担っていることを改めて認識した。今後は、これらの先進事例を参考に、本市の実情に合った施策の充実に生かしていきたい。

【研修の様子】
「高槻城公園芸術文化劇場について」

農林水産・建設委員会視察研修報告
令和7年11月5日(水)～11月7日(金)

11月5日(水)
■長野県千曲市
「都市再生整備計画について」

戸倉地区では、体育館や河川敷エリアを含めた3エリアを一体的に考えた千曲市総合運動公園基本構想が令和5年3月に策定された。これは、千曲川の河川敷を利用した一体的な運動公園や都市計画道路等の整備を計画し実施されているものである。

実施に当たり、河川管理者である国交省千曲川河川事務所と防災の観点に配慮した整備となるような協議調整が必要で、道路整備についても用地交渉が難航し、苦慮している状況である。

また、財源確保についても国庫補助金の内示率の低さもあり、補助金申請の変更（第2世代交付金、防災・安全交付金など）やPFIを活用するなどの検討をされていた。

11月6日(木)
■山梨県山梨市
「インフラ整備（山梨市駅周辺）について」

山梨市駅南側整備事業では、南側への改札口がなく、市街地整備の遅れといった課題があったため、以前より地元からの要望で、山梨駅南市街地まちづくり協議会が設立された。実施に当たっては住民との協働のまちづくりを進めている。事業の実施には、地元住民からの寄附金を募って行われ、寄附者のネームプレートがエスカレーター横の壁面に貼られ掲示してあった。住民参加型の事業とすることで、愛着の湧く素晴らしい駅となっていた。

アザレアタウン整備事業は、山梨コンパクトシティーを体験する地域として整備を進めている。まちづくりに地域の声を反映させ、実現方策の検討をするため、市民参加による「南反保地域まちづくりの会」が設立され、換地業務など地域と行政が協働して事業推進を図っている。

11月7日(金)
■国会議員への要望

長崎選出衆議院議員加藤代議士へ島原・天草・長島連絡道路の早期事業化等について要望書を提出した。

【所感】

事業実施には、住民参加による協働のまちづくりが最も重要であると再認識をしたところである。

【研修の様子】
「都市再生整備計画について」